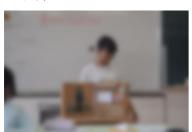
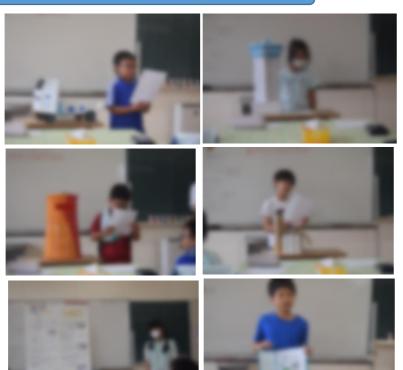
力作ぞろい 夏休み作品

1階ホールで、夏休み作品展示をしています。 工作や自由研究など、どれもが、見ごたえ、読み ごたえがある作品ばかり。大作もあれば、細部ま で丁寧に仕上げたものもありと、非常に見ごた えがあります。各作品には、子ども達の作品への 思いや作成過程などが綴られたカードが貼って あります。来校する機会がありましたらぜひご 覧ください。

2学期始業式後に、7名の児童の説明を全校 生徒の前で発表しました。実物を見せて、作品の 説明や工夫したところ、難しかったところなど

を発表しました。 その発表からも、 自分の作品への愛 着が感じられまし た。







行事予定





日	曜	行事・業務
1	日	
2	月	個人面談①
3	火	個人面談② フッ化物洗口
4	水	第二時間割 午前授業 球技交流会3·4h
5	木	個人面談③ ALT(1h~3h)
6	金	前期クラブ④ 個人面談④ シェイクアウト訓練
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会(3·4年発表)
10	火	フッ化物洗口
11	水	第二時間割 ALT 職員会議 健康相談(2·3年)
12	木	
13	金	秋の遠足
14	土	
15	日	

	16	月	敬老の日
	17	火	フッ化物洗口 学校経営指導訪問
	18	水	第二時間割 宿泊研修(5年) 2年生4時間授業(水泳学習振替)
	19	木	宿泊研修(5年) 乙部中職場体験
	20	金	前期児童会⑥(反省) 乙部中職場体験
-	21	土	
	22	日	秋分の日
	23	月	振替休日
	24	火	フッ化物洗口
1	25	水	第二時間割 午前授業 ALT(2年あり)
1	26	木_	人権教室(4 h)
	27	金	遠足予備日 PUT
	28	±	
	29	日	
	30	月	全校朝会(後期児童会任命式) 前期あゆみ配付 芸術鑑賞会(絆づくりプロジェクト)

今年度の重点教育目標 ◎乙部小学校への統合を視野に入れ、

-人一人に寄り添いながら学びを支える



- ●心深く 学ぶ子
- ●心美しく やさしい子
- ●心明るく たくましい子

明和小学校 学校だより 第5号 令和6年8月31日

確実な一歩の前進をめざして

校長 晴 山 泰 文

新型コロナウイルスの感染が静かに広まりつつあるようです。

しかし、始業式には、全員の子どもたちが元気に登校してきました。昨年の猛暑の体験から、例年より3日長かった夏休みです。休み中には、各々元気に過ごしていたことと思います。

8月23日(金)から2学期がスタートしました。始業式の日から乙部小学校へ初登校する令和7年4月6日までは226日です。おおよそ2/3年ある計算です。しかし、あっという間に「乙部小学校の子ども」になってしまいます。残りの日々を大切に過ごし、力を付けて乙部小学校に進級して欲しい、と強く願っています。

さて、先日の職員会議で1学期の児童に実施した「授業アンケート」の結果を考察しました。考察から導かれた結果は大まかに次の3つです。

1つ目は、学習に向かう姿勢です。学習に対して前向きに取り組んでいる子どもがほとんどです。昨年度までは「ふりかえり」の項目の評価について低く評価している子どももいましたが、今回は改善が見られました。授業のまとめとして、ノートやワークシートに記入することができなくても、この1時間で何がわかったか、どんな気付きがあったかを発表させる時間を設けたことが改善につながったものと考えられます。

2つ目は「自分の意見を積極的に発言する」「わからないことを先生や友達に聞ける」の項目が低い子どもがいました。この子どもについては、乙部小学校への通学も視野に入れて配慮していく必要性を感じています。

3つ目はパソコンの活用についてです。本校の子どもたちは、ある程度パソコンを有効に活用できている、と感じています。しかし、適切な検索ワードの設定やフィルタリングについても、今後機会を見て指導していきます。子どもたちの「できるようになりたいこと」は全員が「タイピングの上達」でしたので、授業のすき間や家庭学習などでタイピングの練習を進めていきたいと思います。

始業式では校長から「健康の大切さ」と「健康の土台の上に学力や豊かな心を育てること」について 話をしました。

冒頭でお話させていただいたとおり、乙部小学校への登校まで2/3年です。子どもたちにも「あっという間ですよ」と始業式でお話しました。乙部小学校へ行っても明和の子どもたちの存在感をしっかり示すことができるよう、一日一日を大切にすごしてほしいと期待しています。

夏休み学習会

8月22日に、夏休み学習会を行いました。今年度は、教育委員会の田澤利行指導主事様に来校していただき、「縄文土器」づくりの体験学習をしていただきました。

粘土の切り方、器の作り方、模様に着け方をわかり やすくユーモアを交えながら、知恵を使った学習の仕 方を教えてくださいました。

子どもたちもいつの間にか作業にのめり込み,あっという間に時間が過ぎていきました。7人が7人の個性が表現された作品が出来上がりました。

完成はこれから焼き上げてからで、この作業がなかなかデリケートなので、ともすると割れたしまうかもしれませんが、完成が楽しみです。



楽しかった親子レク「子ども縁日」

7月25日(木)に、全校児童と保護者による親子レクを行いました。いつも協力的な保護者の皆様には、今回も事前の計画や準備及び当日の「出店」の営業まで、愛情たっぷりな気持とともに、取り組んでくださいました。学校のホールを中心とし、本物のお祭り以上にサービス満点の出店に、子どもたちは大喜び。「くじびき」・「型抜き」・「射的」・「ヨーヨー」・「かき氷」・「チョコバナナ」と、どれもが子どもたちが喜ぶものばかり厳選されていました。また、先生方からの「謎解き学校探検」では、出題された難問をクリアしながらダンジョン攻略さながらのミニ冒険を楽しんでいました。

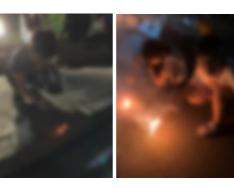
食事処では、昼は「流しそうめん」に加え、「流しおかし」。夕方には「屋外バーベキュー」。良く食べ、良く遊び、サイコーの明和小学校のお祭りを堪能していました。しかし、催し物はこれだけではありません。暗くなってからの締めくくりのり「花火」。教室でのお泊りでのワクワク話と、思い出を語るには尽きない内容で、終了いたしました。ここに至るまでに保護者の皆様及び先生方は、時間を削り出し、子どもたちのために様々な準備・後片付け・お手伝い・裏方をやっていただきました。楽しいレクレーションは、保護者・先生方の優しさに包まれたレクレーションでもあったのではないでしょうか。











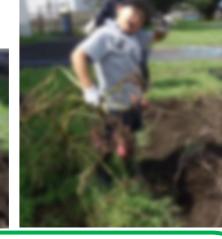
収穫が続々・・・

7月25日(木)に、学校の畑で育てていたイモの収穫を行いました。校長先生が講師となって,5月に種芋を植え、育ててきたものです。どんなふうに収穫できるのか、ワクワクしながら土を掘りました。色・形・大きさなど様々な違いのある芋に一喜一憂し収穫しました。

収穫の後はすぐに蕎麦の種を植えることになりました。また1つ楽しみが 増えました。秋になるのが楽しみですね。







明和小学校と私

匿名希望 花磯 様

今年の 3 月豊浜・花磯地区にある明和小学校が今年度末で閉校してしまうと聞いて、 相当ショックを受けました。地元住民みんなが同じ思いでしょう。 "地域密着"に相応しい学校だったのでなおさらのことです。 そんな明和小学校の思い出を各世代の人達に当時のエピソードと共にじっくり聞いてみると、様々な話題が寄せられました。 まず、明和の生徒といえば、お祭りが大好きです!! 豊浜花磯諏訪神社例大祭には地区内外の人達が大勢集まり地元を離れてもお祭りが近くなると 毎年参加しようと休みの調整に追われているそうです。 私の父や母の世代の人達に聞くと、当時お祭りは宵宮祭と本祭で 3 日間行われたといいます。お 祭り当日は、出席を取るとすぐに生徒と先生達は各山車(ヤマ)やお神輿・天狗さんへついてまわります。各山車の踊り子さん達はお揃いの着物に着替え、何重にも輪になって 計 6 か所ほどで朝まで踊り明かしたといいます。 お祭りで特に見物なのは【三鹿獅子舞】です。この三鹿獅子舞は今から約 300 年ほど前に東北地方から伝わったとされており、道南地方では 最も古い獅子舞ともいわれています。二匹の雄鹿が一匹の雌鹿をめぐって喧嘩をするという壮大 な舞で

す。歌や太鼓、笛の演奏なども生で行われており、 お祭りの最後メインイベントとして披露される踊りはまさに圧巻です。 三鹿獅子舞はお祭りだけでなく、各地で開催される芸能発表にも参加しており豊浜花磯地区の有名な郷土芸能のとして認知されていきました。 お祭りが終わった翌日生徒や先生達は疲れ果て授業ができる状態ではなく、みんな寝ていたようです。それでOKだったといいます。 (写真は、この記事とは関係のない、歴代の明和小学校の児童の様子です)

